

## 基本情報

需要家	本田技研工業株式会社
事業の実施場所	熊本県菊池郡大津町
施設の名称 (需要家の法人名 + 建物の名称)	本田技研工業株式会社 熊本製作所
太陽光発電設備の導入方法	オンサイトPPAモデル
導入設備	太陽光発電設備：784.3kW (太陽光パネルの出力) 565.4kW (PCSの定格出力) 定置用蓄電池：20.48kWh (蓄電容量)
稼働開始時期	2024年2月から発電開始
総事業費 (税抜)	非公表
平均の年間CO <sub>2</sub> 削減率 (削減量)	0.88% (326.43t-CO <sub>2</sub> /年)

## 事業目的・概要等

PPA事業者 (三井住友建設株式会社) は、2050年カーボンニュートラルに向けたロードマップを策定しており、顧客や自治体のカーボンニュートラル及び再エネ主力化への取り組みを推進する事業への参画を目指している。独自に水上太陽光発電システムを自社開発し、ため池等で事業化し、今回で6件目の導入となる。

**本事業は、本田技研工業株式会社 熊本製作所内の調整池を活用したオンサイトPPAモデルで水上太陽光発電設備を導入し、再生可能エネルギーを需要家に売電する。**本事業における年間推定発電量に対する法廷耐用年数の平均の自家消費率は95%を想定しており、これによって年間で348.68t-CO<sub>2</sub>のCO<sub>2</sub>排出量削減を見込み脱炭素化に貢献する。

また、太陽光発電設備とともに定置用蓄電池を導入することで、需要家近隣で災害によって停電が起きた時に一定の工場運営を続けられることでレジリエンスの向上に貢献する。

## 今後の再エネ導入に向けた取り組み

今回導入する水上太陽光発電システムは、切土・盛土等の造成工事が不要で森林伐採の無い環境に配慮できる太陽光発電システムである。更に、水面の冷却効果により高い設備利用率も期待される。

PPA事業者は自社で水上太陽光発電システムを開発し、建設・運転管理を行っており、九州地区での水上太陽光発電事業及びため池以外の調整池の活用は初の試みとなったが、「水上設置型太陽光発電システムの設計・施工ガイドライン (2023年版)」に準拠して設計・施工を行い、適切な運転管理により、水上太陽光発電の普及・拡大を図ることができるものとなった。

## 導入施設の外観



## 主な導入設備



太陽光パネル (調整池に設置)



パワーコンディショナ



定置用蓄電池